

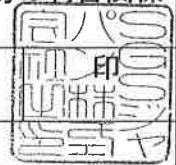
環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成23年6月28日

## 妥当性確認結果の概要報告書

妥当性確認の審査結果ならびにパブリックコメントの概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名			
九州薪・木質ペレット活用協議会における薪と木質ペレットの活用による CO <sub>2</sub> 削減			
GHG 妥当性確認機関			
当該プロジェクトにおける妥当性確認を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。			
機関名	SGS ジャパン株式会社		
担当部署名	認証サービス事業部 サステナビリティサービス部		
責任者名	マネジャー 西 利道		
責任者 E-mail	Toshimichi.nishi@sgs.com		
責任者電話番号	045-330-5021		
審査員名 <sup>1</sup>	茅 博司(チームリーダー) 西 利道(レビュー担当者)		
機関要件への合致	暫定的な妥当性確認・検証機関としての要件を満たし、暫定妥当性確認・検証機関としての登録を受けている。また、ISO14065 に関わる認定の申請を日本適合性認定協会へ提出し、受理されている。		
妥当性確認報告書発行日	平成 23 年 6 月 28 日		
審査内容			
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.1.2		
妥当性確認期間	2010 年 4 月 2 日～2013 年 3 月 31 日		
現地審査	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	期間	2011 年 4 月 26 日 ~ 2011 年 4 月 27 日
	審査内容	① プロジェクト計画書、モニタリングプラン、及び各種付属文書類の現場審査前のレビュー ② 現場におけるサイトツアー、関連プロセス及び設備の確認、担当者へのインタビュー、及び各種文書類記載内容との突合、などを通じ、妥当性確認を行った。	



<p>プロジェクト情報 (A・B)</p>	<p>プロジェクト計画書及び関係書類等を確認し、プロジェクト関係者に対するインタビュー及び現地踏査を行った結果、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェクトにおける参加者、及びプロジェクト活動に関わる情報が、重要性の点から適切に表記されており、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に依拠していることを確認した。</p>
<p>適格性要件(C)</p>	<p>プロジェクト計画書及び関係書類等を確認し、プロジェクト関係者に対するインタビュー及び現地踏査を行った結果、当プロジェクトは、当該方法論及び実施規則に準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適切に表記されており、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に依拠していることを確認した。</p>
<p>排出量・吸収量算定 (I・II)</p>	<p>モニタリング計画書及び証拠書類等を確認し、プロジェクト関係者に対するインタビュー及び現地踏査を行った結果、当プロジェクトは、当該方法論及び実施規則に準拠して排出量算定が計画されており、適格性要件を満たしていることを確認した。デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適切に表記されており、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に依拠していることを確認した。</p>
<p>モニタリング計画 (III～VI)</p>	<p>モニタリング計画書及び証拠書類等を確認し、プロジェクト関係者に対するインタビュー及び現地踏査を行った結果、当プロジェクトは、当該方法論及び実施規則に準拠してモニタリングが計画されており、適格性要件を満たしていることを確認した。デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適切に表記されており、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に依拠していることを確認した。</p>
<p>その他(D)</p>	<p>プロジェクト計画書及び関係書類等を確認し、プロジェクト関係者に対するインタビュー及び現地踏査を行い、関連する許認可及び関連法令等の順守状況などを確認した結果、当プロジェクトにおけるプロジェクト情報が、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適切に表記されており、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に依拠していることを確認した。</p>
<p>機関の見解 (サマリー・結論)</p>	<p>NPO法人 九州バイオマスフォーラムが実施している、「九州内 九州薪・木質ペレット活用協議会における薪と木質ペレットの活用によるCO<sub>2</sub>削減」プロジェクトは、方法論の適格性基準を満たし、プロジェクト計画書・モニタリングプランに記載された、木質ペレットストーブの使用、及び薪ストーブにおける薪の使用、による温室効果ガス排出削減量情報は、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度における温室効果ガス排出削減量の算定及び報告の基準である、『木質ペレットストーブの使用』方法論No.E003、及び『薪ストーブにおける薪の使用』方法論No.E007に基づいて作成されており、当制度における重要性基準を満たしていることを確認した。</p> <p>デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェクトが、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に依拠していることを確認し、当プロジェクトに対し、オフセット・クレジット(J-VÉR)認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。</p>

パブリックコメントの概要

パブリックコメントの募集期間

2011年4月28日から2011年5月11日までの間、パブリック・コメントを募集した。

コメント

受け付けられたコメントはなかった。

妥当性確認機関の見解

受け付けられたコメントはなかった。

---

<sup>i</sup> 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。